

事業所名 上町の家（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

3 月

28 日

法人（事業所）理念		「おたがいさまの町づくり」のもと、その人らしく地域で生活できるように支援する。ニーズに合わせて柔軟にサービスを提供をします。							
支援方針		年齢や障がいの有無に関わらず、多様な人々と共に過ごしなが、自分らしくのびのびと成長し、社会性や生きる力を育めるよう寄り添います。ご本人とご家族にとって安心できる場所、好きな場所でありたいです。							
営業時間		8 時	15 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	☒ あり ☐ なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	検温・顔色の観察。言動から健康状態を把握する。体調の変化があれば受信を促す。保護者へ報告するなど適切に対応する。 遊びの後には、片付けができるように声掛けや支援を行う。 楽しく食事ができるように、姿勢保持、自助具等に関する支援を行います。							
	運動・感覚	靴の着脱、手洗い、うがい、排泄、食事など日常生活の基本動作を確認して、改善や習慣、筋力の維持・強化を図る。 音楽にあわせて手遊びや、身体を動かす遊びを通じて五感を最大限に生かすことができるよう支援します。 感覚に特性のある児は、静かな環境で過ごす事ができるように配慮する。必要に応じ個室対応します。							
	認知・行動	言葉の理解が難しい場合は、活動の内容や時間をイラストで表す。手順を目で見て理解できるようにする。 花見やお祭りなど季節に応じて変化を感じられるような所へ出かける。 感覚の認知の偏りなど個々の個性（特性）に配慮する。必要に応じ刺激になる物を置かず、行動障害を予防する。							
	言語 コミュニケーション	個々の児童の発達段階に合った言葉を用いて声掛けします。必要に応じイラストや身振り手振り、ジェスチャーなど非言語コミュニケーションを用いて相互理解を図る。 自分の気持ちを表現できるように個別に声掛けする場合もある。							
	人間関係 社会性	様々な年齢の人とともに過ごすことで協調性を育む。スキンシップ遊びを通じて愛着を形成する。 具体的にしてほしいことを伝える練習。規則性のあるルール（行動、動作、待つ場所、順番）の理解と気持ちの調整。 地域と共同で行うイベントに参加し地域交流を持つ。公共施設等での室内遊びを通じて社会性を養います。							
家族支援		兄弟含めた子育てに関する困り事の相談にのります。 他の保護者や地域の方との交流の場として交流会を開催します。 子育てや障がいに関する情報提供をする。				移行支援		障がいの有無に関わらず様々な年齢の人との関わりを持ちます。 学校や保育園等と連携を取りながら支援します。 地域イベント等を通じて地域交流を持ちます。	
地域支援・地域連携		近所の公園など、地域の社会資源を積極的に活用します。 見学やボランティア、実習生等を常に受け入れることで交流の場を広げます。				職員の質の向上		虐待防止（身体拘束）に関する研修 災害に関する研修	
主な行事等		季節に関するイベント（クリスマス会・誕生日会、夏休み（外出）など季節の行事を利用者さんのニーズに配慮しながら行います。							